

ホスピタリティ市場の人手不足解消に貢献する 「ホスピタリティロボット」完成

株式会社トランザス（本社：神奈川県横浜市、代表取締役：藤吉 英彦、以下、「トランザス」）は、ホテルやレストラン等のホスピタリティ市場で人的作業を代替するホスピタリティロボット（以下、「本ロボット」）の基本モデルが完成したことを、お知らせいたします。本日より、社内での業務利用による実証実験を経て、2018年11月より最も需要が見込まれるホテルを中心に本格展開を開始いたします。



（サイズ：高さ 143cm×横幅 68cm、重量：55kg、収納部 2 箇所）

【ホスピタリティロボットについて】

本ロボットは、「個性のあるロボットキャラクター」が施設内で人と協働することをコンセプトとして開発されたロボットで、ホテル、病院、介護施設等で人が行っていた物品の搬送業務を代替し、省人化に貢献いたします。

本ロボットには、無線 LAN と各種センサーが内蔵されており、エレベーターと連携することで、エレベーターへの乗車、指定のフロアへの移動、エレベーターからの降車を自動で行い、さらに、客室まで障害物を避けつつ自動で物品を搬送することができます。そのため、物品をロボットに収納する以外の人的作業を不要といたします。

【特長】

本ロボットの最大の特長は、施設運営者様のイメージや利用目的に応じて、その外観・デザインを自由にカスタマイズできる基本構造となっていることがあります。搬送業務の効率化を重視し、ボディにはペットボトルのような高さのある物品でも楽々搬送できる高さ約30cmの収納部を2つ設け、また、親しみやすさを前面に押し出したコミカルなキャラクタースタイルのデザインをしておりますが、施設のコンセプトや利用目的にマッチした外観・デザインで提供することが可能です。

また、本ロボットは、本体に装着したトランザスのウェアラブルデバイス「Cygnus（シグナス）」で直接操作することができますが、それ以外にもコンピュータやスタッフが装着した「Cygnus（シグナス）」からも行うことができるため、遠隔からの操作も可能です。



(収納部写真)

【今後の展開について】

完成した基本モデルは、まずホテルを中心としたホスピタリティ市場向けに、ゲストから依頼された物品を客室に届けるためのロボットとして提供いたします。今後は、カメラやマイク・スピーカーを実装し、カメラ映像と顔認識システムとを連動させた警備サービスや音声認識による応対サービス等、パートナー技術を取りながらサービス拡張によるロボットのラインナップ拡充を図ってまいります。

【株式会社トランザスについて】 <http://www.tranzas.co.jp/>

トランザスは、「しか」にこだわり世の中に無いサービスを創造するために、IoTデバイスの開発・製造からそれを利用したサービスまでを一貫して提供しております。製造するネットワーク機器や研究開発する通信技術を基に、業務用ウェアラブルデバイス、ホームゲートウェイといった製品・サービスを提供し、労働力不足問題をIoTの活用により解決いたします。

製品に関するお問い合わせはこちらまで

株式会社トランザス 営業担当 (info@tranzas.co.jp)